

上野中だより

上野村立上野中学校 学校通信
第4号(文責:校長 五十嵐貴子)
令和5年5月18日発行



朝晩の空気はひんやりしていますが、日中の日差しは夏のようにまぶしく、緑がつくる木陰が風にゆれています。上野中学校は今日も、元気に学校生活を送っています。「今」は今だけ。ですが、この字は、山の懐に過去も未来も全部集まってつながっているという字です。山の木々が日に日に緑を濃くしていくように、ウグイスの鳴く声が日に日に上手になっていくように、昨日の自分より少し成長して明日の自分を目指しながら、今、この瞬間を生きています。だから、しっかり見て聞いて、心を動かそう。それが「念」＝「思い」となり、自分を、周りをよりよく変えていくはずです。積極的な自分になって未来に向かって進もう。そんな気持ちで各学年、5月の活動に取り組んでほしいと思っています。

JRC登録式

5月16日(火)、JRC(青少年赤十字)登録式を行いました。JRC委員長から、活動の意義について説明があり、誓いの言葉を述べ、署名をしてJRCの一員となりました。JRCの実践目標は、「健康と安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つ。命と健康を大切に、自分やみんなのために責任を自覚して行動する。世界(社会や集団の)とのつながりを大切にして仲良く助け合うこと。学校生活でも同じですね。

さあ、何に「気づき」「考え」「実行する」ことができるかな。今までより一つ、「気づくこと」が増えるといいです。そして、みんなで考えて行動を起こせば、未来が変わっていくでしょう。JRCの一員として世界に視野を広げます。



避難訓練

藤岡消防署奥多野消防分署上野消防出張所から3名の隊員の皆様に来ていただき、火災発生を想定した避難訓練を行いました。教室だけでなく、理科室や音楽室でも授業が行われていましたが、逃げる際の約束を守り、自分の命を守るための行動がしっかりできました。また、消火器訓練で消火器の使い方や初期対応についても学びました。



火事、地震、大雨など、どんな災害が、いつ、どこで起こるかわからない時代になりました。こ



うした訓練は、これからも、大人になっても必ずあります。自分と周りの人の命を守る行動ができるといいです。

火災の場合、怖いのは火よりも煙です。煙に巻かれて逃げ場を見失い逃げ遅れてしまいます。中学校は、煙が発生すると防火シャッターが閉まります。煙の流れを封じるためです。シャッターが閉まったら、壁側のドアから出ます。普段、使わないドアなので、意外とパニックになって気づきません。訓練は、そういうことを確認する良い機会です。職員も、消火器の場所、指示や連携の確認、持ち出すものなど、改めて確認しました。



移動音楽教室

2年ぶりに、移動音楽教室がありました。外は雨模様でしたが、中里中の体育館に神流町と上野村の小中学生が集まって、オーケストラの生演奏を楽しみました。バイオリンをはじめとする弦楽器、トランペットやトロンボーンなどの管楽器、リズムを刻む打楽器、それぞれの魅力が伝わりました。中里中学校のステージは、背面がガラスだったので、山の緑を背景に生き生きと、力強く、優しく奏でられた音楽は、まるで森のコンサートのようで、とても素敵でした。



群馬交響楽団の演奏を楽しみました

特別な教科 道徳

月曜日の3校時は「道徳」の時間です。主人公の気持ちになったり、自分ならと考えたり友達の考えを聞いたりしながら、自分の心と向き合う時間を過ごしています。気づいたこと、考えたことが、これからの言葉や行動になっていくといいなと思います。すべての先生が授業をします。授業を通して生徒も先生も一緒に考え心を揺らし、自身の生き方を見つめています。



「養生訓」健康に過ごそう（1年生）



「松葉づえ」本当の友情、本当の信頼とは（2年生）



「あの日生まれた命」命の尊さ、すばらしさ（3年生）



「3年目のごめんね」自分で考えて誠実に行動する（3年生）



「365×14回分のありがとう」家族って素敵だね（1年生）